

こおりやま まちづくり

*** 令和3年 まちづくり協議会 会長年頭あいさつ ***



新年あけましておめでとうございます。旧年中は郡山まちづくり活動へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年（令和2年）の正月の時点では、これほど厄介なパンデミックが起ることは誰も予想できず、『疫病も忘れた頃にやってくる』、正に想定外の出来事となりました。早く、質の良いワクチン供給が望まれるところでございます。

さて、新型コロナ感染拡大により、まちづくり協議会の活動も7月からになってしまいました。以降毎月の定例会で協議を行い、各事業の推進を行っております。コロナ禍の影響で従来からの敬老イベントや年末の餅つき大会の交流福祉事業、講演会等の教育文化事業の飲食や多人数での館内行事は行えませんでした。そんな中、屋外での交流福祉事業として”定期的に歩こう会”を新たに始めました。また、地域（郡山地区7自治会）で困っている事で、まちづくり協議会が主体となって課題の解決に当たれるものは、鈴鹿市一括交付金を利用した取り組みを進めているところでございます。

次に、今後の重要課題と考える事項を2点上げさせていただきます。

1. まちづくり協議会活動内容の周知を図る取組みの推進

各自治会での話題提供やホームページでの情報公開を積極的に進めて行く事が大事と考えます。正月にはホームページの公開もできていると思いますので、ご意見・お問い合わせ等にも大いにご活用くださいませ。

2. まちづくり協議会組織の厚みを増やす取組みの推進

まちづくり協議会は、鈴鹿市役所支援（人・金・物）のもと、各自治会代表者が執行部となり、地域の協力・関係団体と協働で地域づくりを行っていますが、今後安定して継続していくためには、組織の厚みをどう増やすかが、重要課題と考えます。皆様の積極的な参加をお願いいたします。

最後になりますが、皆様のご健康ならびに皆様にとって良いお年になることを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

郡山まちづくり協議会（会長） 宮崎広幸

郡山まちづくり協議会 ホームページご案内

①アドレス→<https://koriyama-mk.jimdofree.com/>

②スマホ使用の方は、右記QRコードを読み取り下さい。



Eメール アドレス : koriyama-mk@mecha.ne.jp

【毎月】第2土曜あさ7時30分

太陽の街中央公園 集合

1月 9日 (土)

2月 13日 (土)

3月 13日 (土)

ラジオ体操の後40分程度、地域のゴミ拾いや花壇の手入れをします <小雨決行>

* 軍手・ヒバサミなど掃除用具をご持参ください

ピカピカこおりやま



【毎月定例】 毎月1日より7時

中瀬古駅前 集合

健康と防犯を兼ねて歩きます

2月 1日 (月)

3月 1日 (月)

拍子木を打ちながら歩きます

A K B & 火の用心ウォークにご参加ください

【世話役】 募集しています

イキイキこおりやま

<指導員募集>

中学生の登校にご協力をお願いします！

登校時街頭指導(横断歩道での交通指導&整理)

横断歩道での指導員が不足して不在の時があります。事故防止に指導員として参加のボランティアを募集しています。(指導方法と七つ道具は説明及びお渡しします)



*** 地域づくり(まちづくり)協議会について (その1) ***

・地域づくり協議会(まちづくり協議会)とは

地域づくり協議会は、住民・自治会・ボランティア団体・公民館運営委員会・町民会議・体育振興会・民生委員・老人会・消防分団・PTAなどの地域で活動する構成団体、交番派出所、公民館、地区市民センター、小中学校などの協力団体で構成されています。幅広い立場の人が集まることで、横の繋がりを持って様々な観点から住みよいまちづくりに協働で取り組んでいく仕組みが「地域づくり協議会」です。

・地域づくり協議会(まちづくり協議会)の必要性

少子高齢化、人口減少により働き手が減り、税収の減少が予想される一方で、高齢化に伴う医療・介護などの社会保障費が増加が予想されます。また、公民館・学校・道路・上下水道・公園などの公共施設で多くの老朽化対策も必要となっており、今後行政の財政状況が段々と厳しくなっていく、行政サービスへの影響が懸念されています。そこで、地域の事を一番よく知る地域住民が主体となって考え、出来る事は自分達で、出来ない事は行政に働き掛け、地域と行政が協働で、「住みよいまち」、「住みよい鈴鹿市」の姿を考え、課題解決や活性化に取り組む必要があります。

・地域づくり協議会と自治会の関係

自治会は、それぞれの地域ごとに決められたルールに沿った自治組織であり、自治会単位での活動を継続しています。自治会は、地域づくり協議会の基礎的な組織であり、住民にとって最も身近な組織ですので、地域づくり協議会と自治会の連携が大切です。